

## 2024年ガルフストリーム読者アンケートについて(予告)



読者の皆様へ、

平素はガルフストリーム誌をご愛顧いただき、ありがとうございます。2022年のアンケートに引き続き、今年も5月にアンケートを行います。コロナ禍により電子化に移行し、先のアンケート結果を踏まえて電子化の継続を決定しておりますが、今回のアンケートでは人気記事をはじめ、コンテンツに対するご意向を把握して、よりよい誌面の拡充に向けて、改善を進めていきたいと思っております。

アンケートの設問は、定点観測の意義から以前とほぼ同様ですが、今回は普段読まないという方のご意見も是非伺いたいと考え、商工会の会員の皆様をはじめ、会員以外の方からも広くご意見を募集したいと考えております。アンケートの方法は去年と同様、特別サイトを立ち上げて行います。商工会及びガルフストリーム誌にリンクを貼り付け、商工会会員の皆様には、メールでのご案内も予定しております。

是非、周りの方々にもお声掛けの上、ご回答を賜りたく、よろしくお願い致します。

(編集委員長 稲田徳弘)



### ガルフストリーム読者アンケート2022年

前回、ガルフストリームでは2019年5月にアンケートを実施させていただきました。その結果に基づき、2019年10月より電子化を推進しつつ、希望者には紙版も配布する方向で年度をスタートしました。

しかしながら、2020年春に新型コロナウイルス感染症拡大により、同年4月号から急速一時的に完全電子化で発行することを余儀なくされ、現在に至っております。

当地の新型コロナウイルスによる感染が沈静化傾向にあることを受け、このたびポストコロナに向け新たなガルフストリームの方向性を探るべく、アンケートを実施させていただきます。経費削減の観点から完全電子化の継続も含め、会員各位のご意見・ご感想をぜひお聞かせください。

ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。(回答は匿名で集計されます。)

ヒューストン日本商工会 広報委員長 稲田徳弘

#### A. 全体的な感想

※ 毎月の発行を楽しみにしている	<input type="radio"/> とても楽しみにしている <input type="radio"/> 楽しみにしている <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> あまり楽しみにしていない <input type="radio"/> 楽しみにしていない
※ 役に立つ情報が掲載されていると思う	<input type="radio"/> とてもそう思う <input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> そう思わない
※ 記事の内容がタイムリーであると思う	<input type="radio"/> とてもそう思う <input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> そう思わない
※ 記事のジャンルは豊富であると思う	<input type="radio"/> とてもそう思う <input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> そう思わない
※ 誌面の雰囲気は全体的によいと思う	<input type="radio"/> とてもそう思う <input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> そう思わない
※ 誌面のボリュームは12ページでちょうど良い	<input type="radio"/> とてもそう思う <input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> そう思わない
※ 家族で共有して読んでいる	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> ときどき <input type="radio"/> 該当しない(単身)

## Houston Walker

■開催中 - Sep. 2

### TXU Energy presents Dinosaurs@ Houston Zoo

ヒューストン動物園での特別展示、動く実物大の恐竜たちが今年も帰ってきています。特別展示チケットが必要となり、メンバー向けにはメーゴーラウンド乗り放題との特別展示バリューパスもおすすすめです。

■Apr. 28

### Rolling Stones: Hackney Diamonds '24@ NRG Stadium

ローリングストーンズツアーがヒューストンにやってきます！

■Apr. 24 - 28

### THE 56TH HOUSTON INTERNATIONAL FILM FESTIVAL@ Cinemark Memorial City

ヒューストンで、映画フェスティバル？実はNYとサンフランシスコに次いでアメリカ国内では3番目に古い映画フェスティバル。日本からの作品も過去受賞をしたことがあり、会場はメモリアルシティです。

■Apr. 27

### IRONMAN TEXAS NORTH AMERICAN CHAMPIONSHIP@ Woodlands

泳ぐ、バイク、走る、肉体の限界に挑戦するアイロマンがウッドランズで開催されます。

内容は記事執筆時点の情報に基づいています。変更になる場合もありますので、お出かけ前に各自で最新の情報を主催者サイト等でご確認ください。

■Apr. 28

### 日本人乳がんシンポジウム@ Dallas

乳がん啓発活動を行っているBCネットワークとダラス日本人会、NY日系人会などが共催で、医師による講演や患者の体験談を開けるオンライン・対面ハイブリッドのシンポジウムを開催します。ダラス日本人会会議室にて中部時間12時～、Zoom参加できます。

■May. 4 & 5

### KEELS & WHEELS CONOURS D'EGANCE @ LAKEWOOD YACHT CLUBS

200を超えるアートクラシックカーや木製ボートがケマーに近いヨットクラブハーバーに集結。

■May. 4

### Kentucky Derby@ Churchill Downs Racetrack

アメリカ競馬界最高峰のケンタッキーダービー、今年は150周年記念を迎え一層華やかに行われます。一着賞金額は史上最高額の500万ドルとの発表も。「アメリカのスポーツ界の中で最も偉大な2分間」ともいわれる歴史的な瞬間を見に毎年15万人が訪れます。

■May 16 - 19

### Pasadena Strawberry Festival@ Pasadena

秦野市との姉妹都市パサデナ。当時イチゴの生産が盛んなことで知られていたパサデナで1974年より続くこのフェスティバル、コンサート、遊園地、泥だらけレース、世界一大きなイチゴショートケーキ作り、パレードなど様々な催しが一体となったイベントです。

## 編集後記

年度替わりの4月。皆さんいかがお過ごしでしょうか。執筆している今はまだ、年度末でバタバタしていますが、発行される頃には、少し落ち着いていればと期待しています。異動の時期でもあり、表紙の総領事の離任ご挨拶の記事に始まり、補習校では卒園・卒業式のご報告もあります。いよいよ暖かくなり、ソフトボールなどのイベントも始まります。

今号が発行される頃にはすでに終わっていますが、8日には皆既日食もあり、州立公園のキャンプ場で見ると予約がいっぱいになったそうです。ボカチカではスペースXの打ち上げも続けられていて、一度見てみたいと思う今日この頃。花粉の飛散は、例年よりも少ないとのデータもあるようですので、ちよっと遠出するにもいい季節ですね。

他方で、ロデオでも銃撃事件が発生、相変わらず油断ができないところですが、これからの季節、急に荒天になることもよくありますので、皆様もどうぞ、安全第一で春のイベントにお出かけください。

(編集委員長 稲田徳弘)

ガルフストリームは毎月15日発行です。

編集委員および投稿募集中！

問い合わせ先: [sansuikai@jbahouston.org](mailto:sansuikai@jbahouston.org)  
ガルフストリームは、ホームページでも閲覧可能です。  
<https://www.jbahoustongulfstream.com/>

発行: ヒューストン日本商工会

発行責任者: 石川隆次郎

編集委員長: 稲田徳弘

構成・編集: ガルフストリーム編集委員一同

免責事項: 本紙掲載の情報について、できる限り正確な情報を提供するように努めておりますが、正確性や安全性を保証するものではありません。情報が古くなっていることもございます。掲載された内容によって生じた損害等の一切の責任を負いかねますのでご了承ください。また本誌に掲載したリンク先の第三者サイトについて、同サイトに掲載されている内容を確認していません。ご自身の責任でご利用ください。